

講義名	観光社会学			授業形態	
担当教員	山川 拓也	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3 時間		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

現代社会は、移動という概念のもとで多くの観光客を生み出しており、【旅する社会（Touring Society）】と呼ぶにふさわしい社会（遠藤、2007）となっている。観光社会学は、【旅する社会】における文化状況・社会状況を踏まえつつ、観光をめぐる人と社会の相互関係から生じる諸作用、実際の観光現象が生成されるプロセスについて考察する学問である。

本科目では、現代社会における観光の構造について社会学の視点から読み解いていく。講義では、最初に事例とする観光地を紹介し、その後、その事例から展開しうる観光社会学の理論トピックスについて説明する。それにより、観光を新たな側面から客観的に分析するための知識と視点を学び、「観光」と「社会」の関係構造について理解できるようにするための視座を涵養する。

到達目標

- ・観光社会学の主要理論の内容を理解し、観光を新たな視点・側面から客観的に捉えられるようになる。
- ・上記をもとに、観光をめぐる人と社会の相互関係から生じる諸作用、実際の観光現象の生成プロセスについて考察できるようになる。

提出課題

- ・「理解定着のための記述課題」（計10回）< Campus-Xs で実施 >
- ・第8回 / 第15回の学習に関する特別課題（詳細については授業中に説明する）
- ・期末論述レポート（詳細については授業中に説明する）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「理解定着のための記述課題」に関して、解説や補足の必要が認められるものについては適宜それを共有する。

評価の基準

評価は下記を総合しておこなう。特別課題および期末論述レポートでは、本科目で扱った観光社会学的な概念や視点をを用いた考察を重視する。特別課題は、講義で扱った観光社会学的な視点を、具体的な事例に適用する力を確認することを目的とする。期末論述レポートは、本科目における学修成果の総括として位置づける。

理解定着のための記述課題（計10回）の提出状況ならびに記述内容：20%
 前半の理解確認テスト（理論知識/持ち込みなし）：10%
 後半の理解確認テスト（理論知識/持ち込みなし）：10%
 第8回の授業に関する特別課題1の提出状況ならびに記述内容：5%
 第15回の授業に関する特別課題2の提出状況ならびに記述内容：5%
 期末論述レポート：50%

- * 毎回の出席確認は厳格に実施する。
- * スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。
- * 累積の欠席回数が5回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（失格/E）
- * 遅刻・早退（時間の長短を問わない）は、1回につき0.5回の欠席として算入する。

* 欠席の受検がない場合、得点は0（ゼロ）点となり、成績評価に影響を及ぼす。

履修にあたっての注意・助言他

履修にあたっては、社会学ならびに観光学の基本的な知識を持っていることが望ましい。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

『よくわかる観光社会学』	安村克己、堀野正人、遠藤英樹、寺岡伸信（編著）	ミネルヴァ書房	2880	9784623060375
『現代観光学：ツーリズムから「いま」がみえる』	遠藤英樹、橋本和也、神田孝治（編著）	新曜社	2640	9784788516052
『旅と理論の社会学講義』	多田治（著）	公人の友社	2420	9784875559009

その他

プリント資料：毎回の授業では講義リジュメを配布し、パワーポイントを使用して授業を実施する。

授業計画

イントロダクション（科目ならびに授業の概要説明、観光社会学とは）
 予習内容：シラバスを通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義の資料やノートを見直し、講義内容の理解を確実なものにする。（120分）
 観光社会学の内部と外縁
 予習内容：「ターゲツリズム」、「観光公害」の用語について予め調べた上で講義に臨む。（60分）
 復習内容：視聴した動画や配布した資料をもとに、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（120分）
 バックパッカーたちの「観光経路」と「語り」（香港の事例から）
 予習内容：「香港」の観光地誌情報や小説「深夜特色」の情報を読み、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 メディアが作る「イメージ」と「観光イベント」（ハワイの事例から）
 予習内容：「ハワイ」の観光地誌情報について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 「シミュラクル」としての観光（ディズニーランドの事例から）
 予習内容：「アメリカのディズニーランド」の観光地誌情報について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 ドラマの世界を生きる観光客たち（韓国事例から）
 予習内容：「韓国」の観光地誌情報、韓流ドラマ「冬のソナタ」の情報を読み、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 【テスト】前半の理解確認テスト（フィードバック解説を含む）
 予習内容：第3回～第6回までの学修内容を整理し、テスト（持ち込みなし）に向けて準備する。（180分）
 復習内容：テスト後のフィードバック解説をもとに、知識の定着を確実なものにする。（90分）
 ドキュメンタリー映画を用いた学びの具体化 - 「THE LAST TOURIST」
 予習内容：現代社会で指摘される観光の問題点について、各種の言説等から予め調べておく。（90分）
 復習内容：受講後に、指定された「特別課題1」に取り組む。（180分）
 観光地にひびく「ガリフォニー」（アメリカ・カリフォルニア州の事例から）
 予習内容：「アメリカカリフォルニア州」の観光地誌情報について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 趣味の観光（ウォーマンズ）（東京の事例から）
 予習内容：「東京」の観光地誌情報、「オタク」について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 風景の政治・投資学（神戸市の事例から）
 予習内容：「神戸市」の観光地誌情報について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 観光における「伝統の転写」（高知の事例から）
 予習内容：「高知」の観光地誌情報、「さこい祭り」について予め調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 人びとに生きる力をあたらせる観光（アメリカ・フロリダ州オランダの事例から）
 予習内容：「アメリカフロリダ州オランダ」の観光地誌情報について調べた上で、講義に臨む。（60分）
 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、「理解定着のための記述課題」に取り組む。（180分）
 【テスト】後半の理解確認テスト（フィードバック解説を含む）
 予習内容：第7回～第13回までの学修内容を整理し、テスト（持ち込みなし）に向けて準備する。（180分）
 復習内容：テスト後のフィードバック解説をもとに、知識の定着を確実なものにする。（90分）
 ドキュメンタリー映画を用いた学びの具体化 - 「A CRACK IN THE MOUNTAIN」
 予習内容：現代社会で指摘される観光の問題点について、各種の言説等から予め調べておく。（90分）
 復習内容：受講後に、指定された「特別課題2」に取り組む。（180分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、観光が現代社会の多様な事象や現象および社会の変容に関わっていることについての学びを含んでいる。観光は時々の社会状況と密接に関連しており、一時的に停滞したとしても、新たな観光形態による新たなコミュニケーションが生み出される。本科目では、観光を個人が余暇を過ごすための一つとしてだけでなく、経済、政治、文化といった様々な側面をもとに生み出される社会コミュニケーションと認識することにより、自身が社会の一員であることについても深く理解することができる。したがって、本科目の到達目標を達成することにより、本学ならびに学部・学科の研に貢献することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・学修課題への取り組みにおいて、response/LIS（Campus-Xs）を活用する。
- ・必要に応じて授業中にresponseを使用し、意見収集等を行うことがある。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
 旅行業および旅行サービス事業者の実務経験（欧州を中心とする海外団体旅行の企画・営業、添乗、海外駐在、市場戦略策定）により得た知識・見解を活用し、分かりやすい事例紹介なども取り入れながら、本科目の目標に学生が到達できるように努める。

備考

科目の進捗状況等によって授業の内容や順序を変更する場合があります。その際には事前に告知する。